

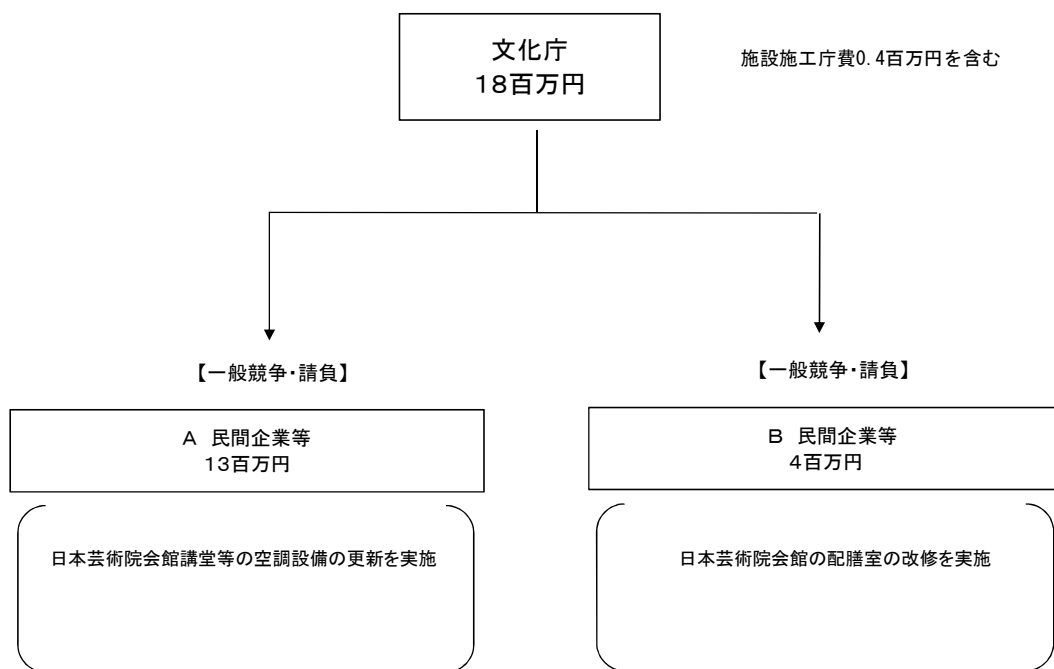
平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	日本芸術院会館施設整備		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度・同年度		担当課室	文化部芸術文化課		芸術文化課長 舟橋 徹		
会計区分	一般会計		政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文部科学省設置法第32条 日本芸術院令		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本芸術院は、美術、文芸、音楽、演劇、舞踊等芸術各分野の優れた芸術家を優遇するために設けられた栄誉機関として設置され、その会館については昭和33年に竣工したところである。しかし、経年経過による施設・設備の老朽化による不具合、作品展示上又は警備上の問題点などが各所に散見され、所蔵美術品の展示、式典・会議等の円滑な実施に支障をきたしているところである。 ついで、これらの不具合を改善し、毎年、天皇后両陛下の行幸啓を仰ぎ実施している日本芸術院賞授賞式を始めとする日本芸術院の事業運営を適切に行うことで我が国の文化芸術の振興に資するものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①日本芸術院会館講堂等空調設備更新工事 現在、講堂、談話室、展示室の冷暖房は、昭和60・61年度に設置した都市ガス利用の冷暖房機を使用しており、経年使用による機器の老朽化により機器起動電源を入れる度に、異常警報装置が発報するなど、不具合が頻発している状態である。ついては、トラブルを未然に防止する観点から空調設備の更新を実施する。 ②日本芸術院会館配膳室改修工事 日本芸術院会館では、日本芸術院授賞式や各種会議等が開催されており、その度に配膳室で給仕等が行われている。ついては、衛生管理上の問題や運用面での支障を改善するため、既存の食器棚及び壁面棚を撤去し、防塵性のある食器棚及び汎用性のある折り畳み式壁面棚を設置するとともに、システムキッチンの更新を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算					18	
		繰越し等						
		計					18	
	執行額							
	執行率 (%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	設備を更新・改修し、日本芸術院の事業運営を適切に行う。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	講堂等の空調設備を更新するとともに、配膳室を改修する。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	8.856百万円(17.711百万円/2工事)		算出根拠	平成26年度要求額/2工事				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	施設施工庁費	-	0.4百万円					
	施設整備費	-	17百万円					
	計	-	18百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				

事業所管部局による点検						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	日本芸術院は、芸術上の功績顕著な芸術家の栄誉機関として設置されており、その適切な運営を行うため基盤を整えることは、日本芸術院が実施すべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	工事業者等の選定は、一般競争入札を行うことで競争性を担保し、更にコストの削減にも努める。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	工事業者等の選定は、一般競争入札を行うことで競争性を担保し、更にコストの削減にも努める。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	芸術上の功績顕著な芸術家の栄誉機関として設置されている日本芸術院について、適切に運営を行うためにその基盤を整備することは優先度の高い事業であり、日本芸術院として行うべき事業である。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
本事業は、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
【文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)】 http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



※「表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない」

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.民間企業等			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費	空調設備の更新工事	13			
計		13	計		0
B.民間企業等			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費	配膳室の改修工事	4			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0